



2015～16年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC9月第 4例会 (2015.9.29) No.3104

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱
(2) 竹石 松次 会長挨拶

佐々木象堂

明治十五年(1882)～昭和三十六年(1961)

佐渡市河原田に生まれた。農家の長男として誕生した文蔵は家が貧しかったことから河原田尋常小学校(四年)、高等小学校(四年)を卒業したが、在学中に商店に住み込み働き学校を卒業した。

卒業後は商店に勤めたものの絵描きをあきらめきれず蠟型鑄金作家・宮田藍堂の紹介状を以って上京、日本画家の野村文挙に身を寄せた。しかし、近視が極度にひどかったので画家としての才能開花を断念し、佐渡に戻ることになった。悩み続ける日が続く文蔵は、心の安らぎを求めてキリスト教会の門をくぐった。このことが文蔵の生涯の伴侶を決めるきっかけとなった。

佐渡に戻った直後、宮田藍堂に弟子入りし、絵ではなく同じ芸術への道を歩み出した。蠟型鑄金は、蜜蜂の巣からとった蜜蝋と松脂を練り蝋をつくり、これを人肌のぬくもりで形を作る。この原型をこまかい土の泥で覆う。これを窯から取り出し蝋が流れ出て空洞になった部分へ、ドロドロに溶解させた千度の金属の湯を流し込む。このあと凝固した後外の泥を割ると、初めに作った蠟型と同じものが誕生、これを磨きあげた作品が蠟型鑄金である。

初代宮田藍堂の門で修業した文蔵は、やがて独立し作品制作の傍ら、良寛の歌の勉強や絵の修業を重ね、教会で出会った真野小学校教諭だったタケに恋したが、キリスト教や無名に近い文蔵との結婚に、タケ側の反対で失恋し、ふるさとを後にして二度目の上京を決断する。

東京では当時鑄金界の重鎮、大島如雲に弟子入りして制作活動に入る。この時三十一歳になっていた。そして、秋の日本美術展で銅賞を受賞、宮内庁お買い上げとなった。

一方、佐渡のタケは、親の反対を押し切って上京、深川の霊岸小学校に奉職し、二人は東京千駄ヶ谷のキリスト教会で結婚式を挙げた。

結婚したものの生活は厳しく苦難の生活が続いた。そして、十年後の大正十一年、上野で開かれた平和博覧会で

「菊花丸文花瓶」が最高賞を受賞、やがて近代日本の工芸会をリードする役割を担った。

太平洋戦争の影響で制作活動もままならず、昭和十九年十一月、家族を伴って奥さんの実家である佐渡市真野に疎開し終戦を迎えた。当然東京に戻るとみられていた象堂は、その後上京せず佐渡での生活、そして、芸術活動を続けた。

東京時代から、童心と無心の僧、良寛に惹かれ、良寛の歌は凡そ暗記していた。

昭和二十二年、佐渡市(旧真野町)に真野陶苑を興し、芸術三昧の生活に入り、以後芸術展に出品、「蠟型鑄銅瑞鹿置物」「蠟型鑄銅瑞鳥置物」「蠟型鑄銅采花置物」が次々と最高賞を獲得し押しも押されぬ鑄金作家となった。

昭和三十五年、蠟型鑄造で国の重要無形文化財保持者＝人間国宝に認定された。新潟県第一号の指定であった。しかし、指定の翌年未完の「天人瑞牛」のデッサンを残して七十九歳の生涯を閉じた。

佐々木象堂の作品は、その完成度において飛鳥時代の神髄を髣髴とさせる洗練した技法で、その技の冴えは時代を超える見事さである。

昭和四十六年(1968)に完成した皇居新宮殿棟飾りの原型に、象堂の「瑞鳥」が選定された。これは、宮内庁宮殿建設責任者であった象堂の娘婿で、佐渡出身の宮尾亮一の尽力で建立されたものである。弟子の宮田藍堂、上京間もない、東京芸術大学学長の宮田亮平も制作に携わった記念すべき作品である。

著者も平成二十年の歌会始で皇居に陪席した折、群青の空に本殿を飾る二体の瑞鳥が、平和の有難さを象徴するかのように見える雄姿をを眩いばかりに仰ぎ見た感激は生涯の思い出である。

朱鷺が棲む佐渡のシンボルともいえる佐々木象堂の作品群は、工芸の世界に一際異彩を放つ存在で、作品は日本の宝である。

画家希望であった象堂は、佐渡で受け継がれた蠟型鑄金で天平の芸術精神を会得し、研ぎ澄まされた数々の名作を残した。

晩年は佐渡で陶芸や絵画にも挑戦したほか、子供たちからも髯のおじいさんとして親しまれ、物づくりの楽しさを語っている。

「春風や 村化にわが六十年(むととせ)の鑄金史」

(3) 委員会報告

・小飯田 澄雄職業奉仕委員長

今年も恒例の職場訪問を実施致します。10/6 例会終了後、JR新幹線車両センターへお伺いいたします。大勢のご参加をお待ちしております。

(4) 同好会報告

・福地利明ゴルフ同好会幹事より9月27日コンペ報告

優勝 中山康君 準優勝 武田博之君 3位 坂本務君

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

竹石 松次君 徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

本間 疆君

(6) ニコニコボックス紹介(堀 盛富委員)

・石橋 正利君 次男に長男が生まれました。3番目の孫です。名前は歩武(あゆむ)です。生まれてきてくれてありがとうございます。

・竹田 正弘君 ゴルフ例会は天気に恵まれメンバーに恵まれ、好スコアで大いに楽しみました。また、懇親会も名店イタリアンで楽しみました。

・中山 康君 27日のゴルフ同好会コンペ優勝しました。サプライズ過ぎです。やはりロータリーはいろいろです。

・武田 博之君 27日のRCゴルフ同好会例会で準優勝させていただきました。二度あることは三度あるで幸運にも三回連続の準優勝です。ニコニコ×3です!

・井原 健至君 先日のゴルフ同好会ハーフベスト38でした。同メンバーの福地さん、松本さん、坂本さんありがとうございました。ところが順位はBBでした。でもいいんです。ニコニコです。

(7) 幹事報告(細野 義彦副幹事)

- ・10月よりロータリーの為替レートが現行の124円より120円に変更になります。

(8) 会員スピーチ「好きこそもの上手なれ」

株式会社ミタカ

取締役副社長 秋山博一 君

(9) 9月29日例会の出席率 71.58 %

会員数99名(出席免除会員 9名)

出席者68名(出席免除会員5名を含む)

(2週間前メーク後 87.10 %)

10月13日の例会予定

会員スピーチ

日本銀行新潟支店長 千田 英継君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>